

日本語教師養成講座Q & A

Q: このコースを卒業すると、どんなことが教えられるようになりますか？

A: テキスト「みんなの日本語」の第1課から第7課まで教えられるようになります。

Q: 広東語も英語もできないのですが、教えられるのでしょうか？

A: 基本的には、媒介語を使わない『直接法』で教えます。つまり、日本語で日本語を教えますので、大丈夫です。

Q: このコースの修了証は、日本でも有効ですか。

A: 日本では、文部科学省の指導により、ほとんどの日本語教師養成学校は420時間のカリキュラムを組んでいます。ですから、15時間のこのコースは、日本では通用しません。

Q: 『日本語教育能力試験』というのは、どんなものですか？

A: 外国人に日本語を教える日本語教育の専門性を確立し、日本語教育の水準を高めるために、1988年から文部科学大臣認定のもとに実施されている試験。日本でも日本語教師を採用する際、ほとんどの学校は、①420時間修了者、②検定試験合格者、③経験者、④4年制の大学卒業者のうち、2つか3つを応募資格としています。

Q: このコースはどんな点に力を入れて、カリキュラムを組んでいますか？

A: 習ったところについては、明日からでも教えられるように、実技指導に重点をおいています。これは、「理論はわかったけれども、具体的にどうすればいいのかわからない」ということがないように、実技指導の時間をふんだんに取り入れたためです。

Q: このコースを修了したら、教師の仕事に斡旋してもらえるのですか？

A: 仕事の斡旋はしていません。しかし、当校での教師を希望する卒業生の中から面接試験を行い、採用しています。現在、すでにたくさんの卒業生たちが当校で活躍しています。尚、当校は非常勤講師の香港労働査証のサポートはしていません。

Q: 現職の教師です。リトレーニングのために受講しようと考えていますが・・・。

A: このコースは教えた経験がない、教えるための勉強もしたことがない、という方のために用意された授業内容となっています。

東亞語言文化学校